

## 自我心理学臨床セミナー2020：現代の自我心理学

英米圏で隆盛をきわめた自我心理学は、心理学と精神医学の中で一定の成果を得て体系化され、今日の精神分析の歴史のなかで、さまざまな学派や技法のなかで、その発想は生き残ってきました。今回のシリーズは、現代の自我心理学的な臨床が、対象関係論や自己心理学、関係論、あるいはエヴィデンス基盤との対話のなかで、どのような形で生き残ってきたのか、について考えたいと思います。そのためセミナーが対象とするのは自我心理学の特徴を受け継いでいる流れ、メンタライゼーション、転移焦点化療法、そして現代自我心理学派（F.パインズやF.ブッシュ）、さらに関係論的な精神分析、短期力動療法などです。昨年度に付け加えたいのは、レヴェンソンをはじめとした関係論の立場、そして短期力動療法の流れです。ホッフマンの専門家として小林先生を、そして関係論の論客として新たに吾妻先生をお招きしました。

ですから主題は、以下のようになります。

- メンタライゼーション理論の発展
- 転移焦点化療法と境界例治療の技法
- 関係論の視点
- 現代自我心理学派
- 短期力動療法

現在、米国にはコミュニカティブ・アプローチやリスニング・パースペクティブ他、いろいろな学派、技法がありますが、今回は上記5点に焦点を合わせます。これらは、特定の理論、技法ですので、専門としている先生方の講義という形をとりません。ぜひご参加ください。

**と　こ　ろ：**小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

**司会・進行：**妙木浩之（東京国際大学・南青山心理相談室）

**講　　師：**岡田　暁宜（名古屋工業大学）

鳥越　淳一（開智国際大学）

東　啓悟（東京国際大学）

小林　陵（横浜市立病院）

吾妻　壮（上智大学）

**受　講　料：**24,000円

**定　　員：**20名

**対　　象：**上記の技法(自我心理学的臨床)を学んだことのない方なら、どなたでも大丈夫です。昨年度までの自我心理学臨床セミナーに参加していた継続の方でも、新たに興味のある方でも、全体で現代の自我心理学を知る機会になると思います。

主催：小寺記念精神分析研究財団

**【講義日程】**

(8月以外、主に第四日曜日の午前中:7月はオリンピックのため、10月は学会、11月と1月は小寺の都合でお休みです)

**10時から12時半**

6月28日 東 啓悟 メンタライゼーションの発展

8月30日(第五) 吾妻 壮 関係論の流れのなかで

9月27日 岡田暁宜 フレッド・パインズの統合

12月27日 小林 陵 アーウィン・ホッフマンの精神分析

2月28日 鳥越淳一 転移焦点化療法の臨床

3月28日 妙木浩之 マスターソンの精神分析的アプローチ

NO. \_\_\_\_\_

# 自我心理学臨床セミナー:現代の自我心理学 申 込 書

本参加申込書は、下記住所まで郵送、FAX または E-mail にてお送り下さい  
 ※Eメールの場合は、件名を「自我心理学セミナー」として本部に下記必要  
 事項をご記入下さい。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-4SC ビル 6 階  
 小寺記念精神分析研究財団事務局

FAX : 03-3350-9749 E-mail : [kodera.kt@nifty.com](mailto:kodera.kt@nifty.com)

申込期間 6月22日(月)まで期間厳守 申込 月 日

フリガナ 氏 名				男 ・ 女 (19 年生)
勤 務 先				
所 属		職 種		経 験 年

(どちらかを○で囲んでください) 自宅 ・ 勤務先

連 絡 先 住 所	〒		
自 宅	電話	FAX	
勤 務 先	電話	FAX	
e-mail アドレス			
<p><b>参加費 : 24,000 円</b>          ☆ 参加の可否については、受付後順次葉書または、申込書に記載の E-mail          アドレスにご連絡いたします。定員になりしだい締め切ります。</p>			
<p>本セミナーをどのようにして知りましたか? 該当する箇所に○をお付け下さい。          郵便・ホームページ・メール・知人の紹介・その他 ( )</p>			

※記載いただいた個人情報はセミナーのご連絡・ご案内のみに使用いたし